

1 地域の連携による「サービス」と「支え合い」の展開			
1-1 地域の連携で、暮らしの安心を支える			
取組	方向性	例示	令和6年度 実績
			備考
① 高齢者等の日常の暮らしを見守る	高齢者をはじめとする多様な人々が安心していきいきと暮らせるまちとし、それらの人の活発な生活・活動を地域の元気の源とします。それにより、若い世代や新たな居住者等がこのまちに住み続けられるイメージを持ち、定住しなくなる魅力が感じられるまちとします。	高齢者等の安心できる日常生活のための見守り活動等	■ UR金剛団地において生活支援アドバイザーによる各種相談対応や電話による安否確認、交流イベント等実施。
			■ R4年6月より「世代、分野を問わずに誰でも集まれるつながりの場」をコンセプトに誰もが立ち寄れる地域の交流の場として虹いろサロンこんごうを運営。※1-1-①、1-3-①、3-1-①
			○ 民生委員・児童委員の配置。〔小学校区ごとに、高辺台6人、久野喜台9人、寺池台6人、+各校区に主任児童委員1人〕 ※1-1-①、1-1-②
			○ R3年10月、金剛連絡所2階に「福祉なんでも相談窓口」を設置（※地域包括支援センター、自立相談支援機関を併設）。個人や世帯が抱える福祉的な複合課題や挟間のニーズに対して、属性を問わない包括的な相談支援を実施。 ※1-1-①、1-1-②
			○ 地域の身近な相談窓口として、コミュニティソーシャルワーカーが校区・地区福祉委員会等と連携し、各小学校区単位で「福祉なんでも相談（校区型）」を開催。〔令和6年度 開催実績：高辺台11回、久野喜台3回、寺池台3回、伏山台12回（小学校区別）〕 ※1-1-①、1-1-②
			○ 配食サービス事業。食事作りが困難な、65歳以上の一人暮らしの人等に、安否確認を兼ねてボランティアが昼食を届ける。自己負担額は、350円/回〔金剛地区の利用登録者は、高辺台（27人）、久野喜台（22人）、寺池台（42人）、配食ボランティア者は高辺台（6人）、久野喜台（3人）、寺池台（8人）〕 ※1-1-①、1-2-②
			○ 認知症キャラバンメイト事業。認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターを育成。〔R6年度、高辺台3回 計35名〕
			○ 地域包括支援センターを運営し、高齢者の生活を総合的に支援。窓口・訪問相談、地域支援構築検討会の開催（12回）、出張相談会の実施（2回）、広報誌の発行（2回）、富田林市金剛地区再生指針推進協議会（2回）へ参加。 ※1-1-①、1-3-①
			○ 各圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置（金剛地区は第3圏域として1人）。地域資源の把握や地域活動の支援を行うなど、地域の生活支援等サービスの充実を図る。 ※1-1-①、1-2-①、1-3-①
			○ 認知症の早期発見と相談・対応を普及・啓発するため、金剛連絡所2階にタッチパネルを設置。出張ものわずれ検診を金剛図書館で1回（20人）、金剛団地中央集会所で1回（27人）実施。
○ 大活字本やCD等、高齢者の利用の多い資料を収集・所蔵。また、高齢者が安心してゆっくり過ごせる場の提供。CD152枚を新たに所蔵。			
② 地域で子どもや子育て世帯を支える	子育てを終えたベテラン揃いの地域力をいかして、「地域で子どもや子育て世帯を支える」ことを共通認識として、まちの「次世代育成」に取組まず。働きながらも安心して子育てができるよう、地域とのつながりの中で、きめ細やかな支援体制を整え、子育て世帯が住みたくするまちを目指します。	保育や家事代行、子育て相談等、子育て中の親に対する日常生活の支援サービスの多様化	■ NPOふらっとスペース金剛による子育て支援事業。
			■ UR金剛団地内の家庭的保育事業所「Kotona（ことな）」にて、園庭を開放する「ENGAWA（えんがわ）」を運営。〔土曜日（不定期）9:30~11:00〕 ※1-1-②、1-4-①
			■ 各小学校において、地域のボランティア等による登下校の見守りやパトロール活動等が行われている。
			■ R4年6月より「世代、分野を問わずに誰でも集まれるつながりの場」をコンセプトに誰もが立ち寄れる地域の交流の場として虹いろサロンこんごうを運営。※1-1-①、1-3-①、3-1-①
			○ 民生委員・児童委員の配置。〔小学校区ごとに、高辺台6人、久野喜台9人、寺池台6人、+各校区に主任児童委員1人〕 ※1-1-①、1-1-②
			○ R3年10月、金剛連絡所2階に「福祉なんでも相談窓口」を設置（※地域包括支援センター、自立相談支援機関を併設）。個人や世帯が抱える福祉的な複合課題や挟間のニーズに対して、属性を問わない包括的な相談支援を実施。 ※1-1-①、1-1-②
			○ 地域の身近な相談窓口として、コミュニティソーシャルワーカーが校区・地区福祉委員会等と連携し、各小学校区単位で「福祉なんでも相談（校区型）」を開催。〔令和6年度 開催実績：高辺台11回、久野喜台3回、寺池台3回、伏山台12回（小学校区別）〕 ※1-1-①、1-1-②
			○ 病児保育事業を実施。保護者による保育が困難である病気中の子どもを預かる事業。〔H28.9~富田林病院なでしこ保育所実施、利用者数164人、利用日数129日〕
			○ つどいの広場事業の実施。子育て中の親子に対して気軽に集い相談交流ができる親子の場の提供などを実施。〔市内7か所、利用児童数10,063人、うち金剛地区1か所（ほっとひろば ふらっと）の利用児童数2,890人〕 ※1-1-②、1-3-②、1-3-③
			○ ファミリー・サポート・センター事業の実施。子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が、お互いに助け合う子育てネットワーク。〔会員数204人（うち金剛地区27人）、活動件数694件〕 ※1-1-②、1-3-②
○ 子育て支援ネットワーク事業の実施。市立保育園のブロック拠点4園を中心に、家庭訪問や園庭開放などの事業を展開。〔児童訪問世帯数10,514世帯（市全体）、園庭開放参加児童数2,099人（市全体）、金剛保育園園庭開放参加児童数643人〕 ※1-1-②、1-3-②、1-3-③			
○ 育児ヘルパーの派遣。産前産後に家事や育児を援助するヘルパーを派遣する。〔申請件数126件（うち金剛地区25件）〕			
③ 地域一体となった防災・防犯活動を強化する	金剛地区全体で防災・防犯に取り組むとともに、各町会（自治会）等、小・中学校区等、身近な単位でのきめ細やかな活動強化を図ります。	全ての町会（自治会）等における自主防災組織の設立	■ 地区内の小学校で校区防災訓練を実施。〔伏山台小学校区、寺池台小学校区〕
			■ 地域で自主防災組織が活動。※金剛地区では、7団体（高辺台一丁目、高辺台二丁目、たかさん、寺池台三丁目、久野喜台一丁目、久野喜台二丁目、ファミリー金剛ヒルズソシエテ）の組織が活動。
			■ 金剛中学校区すこやかネットの防災部会が活動中。
			○ 地域防災訓練を実施、消耗品等の経費を補助。〔寺池台小学校区118人、伏山台小学校区200人〕。
			○ 令和6年度において、金剛地区（久野喜台・高辺台・寺池台）に既存する自主防災組織7組織のうち4地区から運営補助金の申請があり、交付を実施した。
			○ 犯罪の防止・抑止や早期解決のため、通学路や公園等に設置した市設置型防犯カメラの維持管理。〔R6年度末現在の維持管理数、市全体115台、うち高辺台8台、久野喜台3台、寺池台9台〕
			○ 市職員による青色防犯パトロール活動を平日の早朝（登校時）、午前中、午後（下校時）、午後（夕方）実施。〔高辺台、久野喜台、寺池台、伏山台小学校区については、概ね週5~8回〕
			○ 自主的に青色防犯パトロール活動を実施する団体に対し補助金交付等の支援。〔市全体で2団体が活動、金剛地区では1団体「高辺地域連携ネット」が活動〕
			○ 町会・自治会等が行う防犯灯の設置や維持管理費の一部を補助。〔R6年度は、新設：市全体14団体（うち金剛地区1団体）、維持管理：市全体239団体（うち金剛地区18団体）の補助金を交付〕
			○ 金剛中央公園にて「金剛てんこもりフェス」、「防災体験」、「バーベキュー-社会実験」を同時に行うParkDay2024を開催。令和6年9月28日実施。※1-1-③、3-3-③
○ 交通安全教室の開催（市内各小中学校、幼稚園、保育園、地域高齢者向け）R6年度は金剛地区全4小学校、葛城中学校、金剛、伏山台の各幼稚園、金剛、とまっちの各保育園、寺池台こども園で開催。			
○ 地域自主防災組織の育成。組織結成時に最大20万。次年度から5~10万の運営補助金を交付。〔金剛地区は、7団体が組織されており、R5年度はうち6団体に運営補助金を交付〕			

1-2 便利で魅力ある生活サービスを充実する					
取組	方向性	例示	令和6年度 実績		
① 住民が魅力を感じる生活サービス機能を、多様な方法で充実させる	日常の買い物や生活を支えるサービスだけでなく、豊かな時を過ごしたり、交流したり、時代のニーズに応じた魅力が感じられる機能を高めます。	商業・サービス施設等における、住民ニーズに応じた商品やサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 金剛マルシェ〜地場やさい市〜の定期開催。(毎月第4土曜日) ※1-2-①、1-2-②、1-4-②、3-3-①、4-1-③</li> <li>◎ 「わっくCafé」の開設。金剛地区まちづくり会議参加者有志(拠点づくりプロジェクト)が「一般社団法人わっく金剛」を設立し、地域の居場所やチャレンジの場として、日替わりオーナーの仕組みを取り入れたコミュニティカフェを開設。月2回子ども食堂も実施。[R3.2.27開設] ※1-2-①、1-3-④</li> <li>○ スマートシティ実現に向けた実証の実施として、野菜無人販売所の設置を実施し、ICT技術に触れる機会を設けるとともに、買物利便性の向上、外出・運動・交流機会の創出を図る。[∞KON ROOM]</li> <li>○ 各圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置(金剛地区は第3圏域として1人)。地域資源の把握や地域活動の支援を行うなど、地域の生活支援等サービスの充実を図る。 ※1-1-①、1-2-①、1-3-①</li> <li>○ 絵本を通しての親子のふれあいを目的に、保健センターでの4か月健診時に絵本を配布。[425冊]</li> <li>○ 市内全公立小中学校図書館への貸出のほか、本を読む動機となるよう市独自の「読書通帳」を全生徒へ配布。また、テーマ別で選んだ「本のおたのしみ袋」の貸出を実施。また、幼稚園に自動車文庫つつし号を乗り入れ、園児や地域のへ本を貸し出し。</li> </ul>	【金剛マルシェ実行委員会】	
		コミュニティカフェや朝市等、暮らしをより便利で豊かにするためのコミュニティビジネスの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金剛連絡所、エコーロゼに返却箱を設置。自動車文庫巡回の実施。[金剛地区周辺では、藤沢台七丁目、久野喜台二丁目、金剛グリーンハイツで実施。のべ289人が利用、329冊貸出。]</li> <li>○ 視覚障がい者へのサービスとして、対面朗読や録音図書の実施。</li> </ul>	【一般社団法人わっく金剛】	
		配食や移動支援等、日常生活の支援サービスの多様化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 金剛マルシェ〜地場やさい市〜の定期開催。(毎月第4土曜日) ※1-2-①、1-2-②、1-4-②、3-3-①、4-1-③</li> <li>■ 生協の移動販売車(コープのお買物便)の運行。(毎週木曜日、4箇所停留)</li> <li>○ 配食サービス事業。食事作りが困難な、65歳以上の一人暮らしの人等に、安否確認を兼ねてボランティアが昼食を届ける。自己負担額は、350円/回[金剛地区の利用登録者は、高辺台(27人)、久野喜台(22人)、寺池台(42人)、配食ボランティア者は高辺台(6人)、久野喜台(3人)、寺池台(8人)] ※1-1-①、1-2-②</li> </ul>	【金剛マルシェ実行委員会】	
		商業施設等と連携した商品配達サービスや送迎車運行等、買い物等の移動を支援する交通手段とそのサービスの充実			
		IoT、パーソナルモビリティ等、新技術の実用化、実験への積極的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ レインボーバスの運行。市内公共施設の利用促進と移動手段確保のため、地域コミュニティバスを運行。[毎日3便運行(年末年始を除く)、富田林駅-金剛連絡所間(公共施設を経由して運行)、令和6年度利用者数15,051人]</li> <li>○ 公共交通の利用促進として、市内路線バス情報を掲載した「らくらくマップ」の配布や、ウェブサイトにおける情報提供を実施。</li> </ul>	【金剛図書館】	
					【交通政策室】
② 高齢者等の買い物や日常生活での移動を支える	バス停から距離のあるエリアや、坂道のあるエリア等では、特に子育て世帯や高齢者の買い物等、日常生活での移動における課題への対応を進めます。	配食や移動支援等、日常生活の支援サービスの多様化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 金剛マルシェ〜地場やさい市〜の定期開催。(毎月第4土曜日) ※1-2-①、1-2-②、1-4-②、3-3-①、4-1-③</li> <li>■ 生協の移動販売車(コープのお買物便)の運行。(毎週木曜日、4箇所停留)</li> <li>○ 配食サービス事業。食事作りが困難な、65歳以上の一人暮らしの人等に、安否確認を兼ねてボランティアが昼食を届ける。自己負担額は、350円/回[金剛地区の利用登録者は、高辺台(27人)、久野喜台(22人)、寺池台(42人)、配食ボランティア者は高辺台(6人)、久野喜台(3人)、寺池台(8人)] ※1-1-①、1-2-②</li> </ul>	【金剛マルシェ実行委員会】	
		商業施設等と連携した商品配達サービスや送迎車運行等、買い物等の移動を支援する交通手段とそのサービスの充実			
		IOT、パーソナルモビリティ等、新技術の実用化、実験への積極的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ レインボーバスの運行。市内公共施設の利用促進と移動手段確保のため、地域コミュニティバスを運行。[毎日3便運行(年末年始を除く)、富田林駅-金剛連絡所間(公共施設を経由して運行)、令和6年度利用者数15,051人]</li> <li>○ 公共交通の利用促進として、市内路線バス情報を掲載した「らくらくマップ」の配布や、ウェブサイトにおける情報提供を実施。</li> </ul>	【金剛図書館】	
					【交通政策室】
					【交通政策室】
					【交通政策室】
1-3 「居場所」となる活動をつくる					
取組	方向性	例示	令和6年度 実績		
① 高齢者等の生きがいづくり、健康の維持等を支える	高齢になっても、自分らしくいきいきと暮らし続けられるように、生きがいを持つことができ、心身ともに健康を維持するための場所やプログラムの充実を図ります。	ふれあい喫茶や趣味活動のサークル等、既存の取組の継続・充実、ニーズに応じた多様な取組の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ SNS (Facebook) による、金剛地区活性化に向けた取組の情報発信。 ※1-3-①、4-1-④</li> <li>○ 多彩な活動をする計54クラブが活動。(延1,369回、17,674人参加) そのうち、クラブ体験教室を18クラブが開催。(延27時間、80人参加) ※1-3-①、1-4-③</li> <li>■ R4年6月より「世代、分野を問わずに誰でも集まれるつながりの場」をコンセプトに誰もが立ち寄れる地域の交流の場として虹いろサロンこんごうを運営。 ※1-1-①、1-3-①、3-1-①</li> <li>■ 寺池台5丁目に住民の交流拠点が無いので、UR集会所を利用し、気軽に交流できる居場所での通いの場にもなるサロンを地域関係者が設置。元気なまちづくりモデル事業補助金を活用。</li> <li>■ 地区集会所、老人いこいの家、小学校の多目的室等を使用して、福祉委員会によるサロン開催。[概ね毎月1回]</li> <li>■ UR金剛団地第4集会所「つどい」(寺池台四丁目)において、だれもが気軽に集える喫茶「自治会サロン・つどい」を開催。[毎週木・土曜日]</li> <li>■ UR金剛団地において生活支援アドバイザーによるイベントの開催等。[H26以降2~3回/年開催] ※1-3-①、1-3-②</li> <li>○ 地域包括支援センターを運営し、高齢者の生活を総合的に支援。窓口・訪問相談、地域支援構築検討会の開催(12回)、出張相談会の実施(2回)、広報誌の発行(2回)、富田林市金剛地区再生指針推進協議会(2回)へ参加。 ※1-1-①、1-3-①</li> <li>○ 一般介護予防事業。地域の団体等に対し、地域介護予防普及教室を開催。[金剛地区では久野喜台(1か所20回209人)、寺池台(2か所70回924人)で開催]</li> <li>○ 月1健康体操の開催。(実績:①年10回(延15時間)、延183人参加)</li> <li>○ 高齢者の社会参加支援。老人クラブへ活動補助金を交付。[市全体で77団体、会員5655人/内金剛地区:高辺台3団体111人、久野喜台3団体81人、寺池台3団体112人へ活動補助金を交付]</li> <li>○ 各圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置(金剛地区は第3圏域として1人)。地域資源の把握や地域活動の支援を行うなど、地域の生活支援等サービスの充実を図る。 ※1-1-①、1-2-①、1-3-①</li> </ul>	【金剛地区まちづくり会議】	
		誰もが受け取れる情報提供・PRの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ UR金剛団地において生活支援アドバイザーによるイベントの開催等。[H26以降2~3回/年開催] ※1-3-①、1-3-②</li> <li>○ 地域包括支援センターを運営し、高齢者の生活を総合的に支援。窓口・訪問相談、地域支援構築検討会の開催(12回)、出張相談会の実施(2回)、広報誌の発行(2回)、富田林市金剛地区再生指針推進協議会(2回)へ参加。 ※1-1-①、1-3-①</li> </ul>	【公民館】	
		福祉事業者、及び地域団体等の連携による、健康相談や介護予防のための運動プログラムづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般介護予防事業。地域の団体等に対し、地域介護予防普及教室を開催。[金剛地区では久野喜台(1か所20回209人)、寺池台(2か所70回924人)で開催]</li> <li>○ 月1健康体操の開催。(実績:①年10回(延15時間)、延183人参加)</li> <li>○ 高齢者の社会参加支援。老人クラブへ活動補助金を交付。[市全体で77団体、会員5655人/内金剛地区:高辺台3団体111人、久野喜台3団体81人、寺池台3団体112人へ活動補助金を交付]</li> <li>○ 各圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置(金剛地区は第3圏域として1人)。地域資源の把握や地域活動の支援を行うなど、地域の生活支援等サービスの充実を図る。 ※1-1-①、1-2-①、1-3-①</li> </ul>	【こんごう運営委員会】	
		高低差のある地形や自然に触れられる公園等をいかした、散策ルートや健康増進プログラムづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ SDGs 未来都市 介護予防・健康ポイント事業。40歳以上の市民(モニター参加)が活動量計を携帯して日常生活やウォーキングを行う。日々の歩数計測や定期的な体組成測定を行い、楽しく健康づくりに取り組む。収集したデータは、介護予防、商助の観点から分析する。[令和6年度は、市全体で583人(うち金剛地区117人)が参加、フェリカリーダー市内26か所(うち金剛地区6か所)に設置]</li> </ul>	【寺池台5丁目サロン・ド・テラゴ】	
					【高辺台・久野喜台・寺池台・伏山台小学校区福祉委員会】
					【UR金剛団地自治会】
					【UR都市機構】
					【高齢介護課】
					【高齢介護課】
					【高齢介護課】
② 子育て中の親の交流や社会参加を支える	社会から孤立しがちな子育て世帯が、いきいきとした暮らしができることを目指し、さまざまな交流の機会をつくるとともに、子育て中の親たちが自分のための活動(趣味や仕事等)に向き合うことができるように、地域で支援を行います。	子どもと子育て中の親が集うことのできるサークル、親子教室のほか、子育て中の親たちが使えるスキルアップや就業機会の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 所有する分譲団地の一室を共有し、サークル、講座、サロン等、様々な活動ができる「ふらっとシェアルーム」を運営。 ※1-3-②、1-3-④</li> <li>■ 地域による子育て支援として福祉委員会子育てサロンを開催。(毎月1回)</li> <li>○ 親子でふれあいを持ち、ともに体験することを通じて、親子や子育て世代などの交流、子育て支援、子どもの成長促進を図る。金剛連絡所で3講座を延べ5回開催。参加者延べ75人。</li> <li>○ 就学前の乳幼児とその保護者を対象として安心な居場所、交流できる場、子育ての情報を得ることのできる場になる教室を金剛連絡所で開催。計2回開催、参加者延べ35人。</li> <li>○ おたのしみ会・リサイクル工作[計32名参加]、図書館体験講座[計12名参加]、おはなし会[20回開催、154人参加]、あかちゃんのおはなし会[30回開催、75組参加]、各種こども向け講座[延230名参加]</li> <li>○ 親子で楽しむ手形アート講座を開催。(4回、延6時間、延17人参加)</li> <li>■ UR金剛団地において生活支援アドバイザーによるイベントの開催等。[H26以降2~3回/年開催] ※1-3-①、1-3-②</li> <li>○ つどいの広場事業の実施。子育て中の親子に対して気軽に集い相談交流ができる親子の場の提供などを実施。[市内7か所、利用児童数10,063人、うち金剛地区1か所(ほっとひろば ふらっと)の利用児童数2,890人] ※1-1-②、1-3-②、1-3-③</li> <li>○ ファミリー・サポート・センター事業の実施。子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が、お互いに助け合う子育てネットワーク。[会員数204人(うち金剛地区27人)、活動件数694件] ※1-1-②、1-3-②</li> <li>○ 子育て支援ネットワーク事業の実施。市立保育園のブロック拠点4園を中心に、家庭訪問や園庭開放などの事業を展開。[児童訪問世帯数10,514世帯(市全体)、園庭開放参加児童数2,099人(市全体)、金剛保育園園庭開放参加児童数643人] ※1-1-②、1-3-②、1-3-③</li> </ul>	【NPOふらっとスペース金剛】	
					【寺池台・伏山台小区福祉委員会】
					【児童館】
					【児童館】
					【金剛図書館】
					【公民館】
					【UR都市機構】
					【こども政策課】
					【こども政策課】
					【こども政策課】

③ 子どもの創造的で豊かな学びや遊びの場をつくる	金剛地区、及びその周辺地域の歴史や文化、自然環境をいかす等、学校教育に限らず、日常の暮らしの中に創造的で豊かな学びと遊びの場を充実させ、特色のある子育て・教育環境をつくりまします。	公園や自然等の地域資源、地域団体・事業者等の地域力をいかした、職業体験や冒険遊び場等、子どもの創造的な学び・遊びの場づくり	■ 子どもの居場所づくり事業として、ふらっと寺子屋を運営。	【NPOふらっとスペース金剛】
			◎ 寺池公園プレーパーク実施。（「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、禁止事項を極力なくした外のおそび場。木登り、ターザンロープなど）	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】
			■ ∞KONROOMにて「子どもたちの居場所づくり」をコンセプトに、宿題サポートやゲームを実施。	【大阪大谷大学】
			○ つどいの広場事業の実施。子育て中の親子に対して気軽に集い相談交流ができる親子の場の提供などを実施。〔市内7か所、利用児童数10,063人、うち金剛地区1か所（ほっとひろば ふらっと）の利用児童数2,890人〕 ※1-1-②、1-3-②、1-3-③	【こども政策課】
④ 仕事やコミュニティビジネス、ボランティア等のできる環境をつくる	金剛地区は住宅に特化したまちとして成熟してきましたが、働き方や家族構成の多様化とともに、退職した高齢者層が増えており、住宅と日常的な生活サービスだけでは「居場所」が不足しています。一人ひとりが煌く（＝自分らしくいきいきと暮らす）ことができるよう、働く場、社会貢献活動をする場、夢の実現に向けた起業等にチャレンジできる場が身近にあるまちとします。	空き施設や空き家等を活用した、チャレンジショップやシェアオフィス等、仕事や活動ができる場づくり  身近な働く場となる、多様な生活サービス機能の充実等  ボランティアやコミュニティビジネスに参加したい、あるいは起業したい住民が活躍の場を見つけやすくするための、情報発信の充実や人材育成  起業やNPO設立等に関する専門的なサポートの仕組みの充実	○ 子育て支援ネットワーク事業の実施。市立保育園のブロック拠点4園を中心に、家庭訪問や園庭開放などの事業を展開。〔児童訪問世帯数10,514世帯（市全体）、園庭開放参加児童数2,099人（市全体）、金剛保育園園庭開放参加児童数643人〕 ※1-1-②、1-3-②、1-3-③	【こども政策課】
			○ こどものクラブ体験教室を6クラブが開催。（延8時間、45人参加）	【公民館】
			◎ 「わっくCafé」の開設。金剛地区まちづくり会議参加者有志（拠点づくりプロジェクト）が「一般社団法人わっく金剛」を設立し、地域の居場所やチャレンジの場として、日替わりオーナーの仕組みを取り入れたコミュニティカフェを開設。月2回子ども食堂も実施。〔R3.2.27開設〕 ※1-2-①、1-3-④	【一般社団法人わっく金剛】
			■ 所有する分譲団地の一室を共有し、サークル、講座、サロン等、様々な活動ができる「ふらっとシェアルーム」を運営。 ※1-3-②、1-3-④	【NPOふらっとスペース金剛】
			○ 市民公益活動支援センター（小金台二丁目）の運営委託。市内で市民公益活動を行う人・団体に対し、相談業務や情報提供、講座の実施、備品貸出、活動場所の提供などの支援を実施。（金剛地区：金剛ショッピングモール51件375人、KONROOM30件143人） ※1-3-④、4-1-②	【人権・市民協働課】
			○ 金剛地区魅力向上拠点「∞KON ROOM」の開設。コワーキングスペース、自習スペース等を主な機能とし、地域のニーズを取り入れながら多様な世代の居場所や交流の場となる取組をモデル的に実施するため、市とURの共同で開設。〔R3.1.5開設〕	【UR都市機構】 【金剛地区再生室】

1-4 多様な「交流」の仕掛けをつくる

取組	方向性	例示	令和6年度 実績	
① 地域社会ならではの世代間交流の場をつくる	若年世代と社会経験豊富な中高年層、子どもと高齢者等、異なる世代が交流し、新たな煌きが生まれる機会をつくりまします。	生活サービス施設や福祉施設等の多機能複合化による、誰もが使えるフリースペース等、世代間交流の場づくり  大学生によるまちづくり活動への参加や高齢者による昔遊び教室等、多世代が交流するプログラムづくり	■ 居場所づくりの一環として、DVD鑑賞会&カフェの開催。（月1回）	【まちづくり会議参加者有志】
			■ 地域住民等による居場所・施設のコーディネート。（Café&Lunchロベ、寺池公園バラソルカフェ、高辺台プラザにてカフェ、わっくcafé等）	【地域住民等】
			■ UR金剛団地内の家庭的保育事業所「Kotona（ことな）」にて、園庭を開放する「ENGAWA（えんがわ）」を運営。〔土曜日（不定期）9:30~11:00〕 ※1-1-②、1-4-①	【NPOふらっとスペース金剛】
			○ 金剛地区の新たな目的地として金剛駅周辺を対象とし、暮らしの選択肢や楽しみ（+1）を生み出し見つけることができるよう、金剛駅周辺まちなかウォークルビジョンを策定。〔令和7年3月〕令和6年10月25、26日には社会実験を実施。※1-4-①、3-3-①	【金剛地区再生室】
② 周辺地域との交流や歴史文化に触れる活動に取り組む	地区の周辺には、寺内町の歴史的なまちなみや自然・農業エリア等、個性的な魅力のある地域があります。このような地域との交流により、地区に新たな魅力・文化を育てまします。	周辺地域での農業体験、農家による朝市の開催、寺内町や高野街道等の歴史文化に触れる講座、周辺住民との交流イベント等	○ LGBTQコミュニティスペースで、社会孤立を防ぐことで誰もが自分らしく生きることができる社会を実現をめざすため実施。（R6.9.28 金剛中央公園 参加者11人）	【人権・市民協働課】
			○ 大阪大谷大学、阪南大学、UR都市機構、市の4者により、KONGO Living Lab Project (KLLP) について活動。令和6年7月に包括連携協定書を締結した。※1-4-①、4-1-①、4-1-③	【大阪大谷大学】 【阪南大学】 【UR都市機構】 【金剛地区再生室】
③ 地区内外の多彩な交流により、文化・創造活動、生涯学習等を充実させる	住民が身近で文化・創造活動や生涯学習、健康増進等に取り組めるまちとするため、地区内外の多彩な人材・団体、事業者との交流によるプログラムの充実を図ります。	自らの特技をいかした講座やサークル等を気軽に開ける仕組みと場所づくり、指導者の育成  大学、事業者、各種団体等との連携による、高度な学びに触れる機会やプログラムづくり	○ 多彩な活動をする計54クラブが活動。（延1,369回、17,674人参加） そのうち、クラブ体験教室を18クラブが開催。（延27時間、80人参加） ※1-3-①、1-4-③	【公民館】
			○ 男女共同参画に関する活動を行う団体に対して活動場所【男女共同参画センターウィズ（TONPAL内）】を提供。登録団体間の情報共有やネットワーク化により活動を支援。〔市全体8団体（うち金剛地区1団体）が利用登録〕	【人権・市民協働課】
			○ 市内でSDGsに貢献する事業者や団体等を市独自で登録し、市民連携を促進するプラットフォームとして運用するものとして、「SDGsパートナーシップ制度」を運用している。〔R6年度末現在、市全体64団体（うち金剛地区6団体）が登録〕	【政策推進課】
			○ 各種講座や講演会の開催。「音声訳ボランティア養成講座」〔全5回、29人参加〕、「おとなのための朗読会」〔13名参加〕、「いきいき音読教室」〔14名参加〕	【金剛図書館】

2 多様な「住まい」の供給・流通の促進

2-1 改修や建て替え等に取り組む			令和6年度 実績	
取組	方向性	例示		
① 賃貸住宅の改修等に取り組む	地区内の住宅の半数以上を占めるUR賃貸住宅においては、長い期間をかけて形成された団地のコミュニティ力による住み良さを継承、発展させるとともに、改修等により魅力的な住宅の供給を進めます。 なお、将来的に団地再編を検討する場合には、金剛地区の再生・活性化に資するよう新しい施設や住宅の導入、公共空間の魅力化等を検討することが期待されます。	UR都市機構が取り組む金剛団地の「地域医療福祉拠点化」を推進	■ UR都市機構と富田林市の連携による「地域医療福祉拠点化」の推進。	【UR都市機構】【富田林市】
		若年世帯向けの改修住戸やDIY可能住戸の供給等検討	■ UR金剛団地において、高齢者の方が安全に住み続けられるように、移動に伴う転倒の防止等に配慮した「健康寿命サポート住宅」の改修及び供給。	【UR都市機構】
			■ UR金剛団地において、「MUJI×UR」などの魅力的な企画住宅を供給。	【UR都市機構】
② 戸建住宅の改修や建て替え等に取り組む	戸建住宅居住者が高齢等になっても安心して住むことのできるバリアフリー改修、家族構成やライフスタイルの変化に応じた増改築・建て替えのほか、空き家を有効活用する改修や建て替えに情報提供等の支援を行います。	高齢期に向けたバリアフリー改修等、長く住み続けるための自宅の改修や建て替え	○ 空家バンク制度の運用。【H30年7月立ち上げ。現在、登録事業者21件、成約は2件（内金剛地区1件）】同制度を活用する、所有者や居住希望者に対し、契約が成立した場合等に補助金を交付。 ※2-1-②、2-2-②、3-2-①	【住宅政策課】
		改修・建て替えや空き家の有効活用・流通を含めたセミナーの開催やガイドブックの発行等	○ 耐震化促進補助金の交付。【市全体では診断15件、改修3件、除却15件（うち金剛地区では診断3件、改修1件、除却1件）に補助】	【住宅政策課】
③ 分譲マンションの改修や建て替えの検討に取り組む	バリアフリーや老朽化等の課題のある分譲マンションにおいては、戸建住宅等とは異なり、改修や建て替えの際には区分所有者の合意形成が課題となります。そのため、管理組合が改修や建て替えに向けて取組やすいよう、専門家等による支援を行います。 特に、駅前やふれあい大通り沿いは金剛地区にとって重要なエリアであることから、改修や建て替えを行う場合には、行政と連携して公共空間の魅力化を検討することが期待されます。	管理組合による改修や建て替えに向けた勉強会の開催や検討等	■ 「金剛第三住宅建替え検討委員会」による活動。	【金剛第三住宅】
		改修や建て替えに関する勉強会、アドバイザー派遣、意向調査等、専門知識が必要な取組を支援	■ 「金剛第三住宅建替え検討委員会」による活動。	【金剛第三住宅】
2-2 空き家の流通促進等、住宅市場の活性化を支える			令和6年度 実績	
取組	方向性	例示		
① 住み替えや転入希望者、親子近居・同居希望者への情報提供等に取り組む	若年世代等、多様な人々に移り住んでもらえるよう、金剛地区の魅力、住まいや暮らしの情報提供を進めます。また、地区内での住み替え希望者への情報の充実を図ります。	地区内の住まい情報の一元化、暮らしマップの作成、お試し暮らしツアー、住み替え相談窓口の設置等	■ UR金剛団地において若年層や子育て世帯の入居促進策として「近居割ワイド（H28.1〜）」、「U35割（H28.8〜）」、「そのママ割（R2.8〜）」や「子育て割（H26.8〜）」を実施。	【UR都市機構】
			○ 若者・子育て世代転入促進給付金の交付。親子での近居・同居を目的として富田林市内に住宅を取得した人に対して、補助金（同居50万円、近居30万円）を支給（H27年度〜）。【R6年度、近居56件、同居1件（うち金剛地区では、近居9件、同居0件）を支給】	【住宅政策課】
② 地域が連携して空き家の流通等に取り組む	近年増加傾向にある戸建住宅や分譲マンションの空き家が、新たな居住者を呼び込むための受け皿となるよう、その流通を促進します。	空き家や中古市場の実態を調査し、活用促進策を検討	○ 適正に管理されていない空き家の活用策を講じるため、空家等対策協議会を開催。令和6年度は2回開催。	【住宅政策課】
		空き家所有者向けの、空き家の有効活用・流通に関するセミナーの開催やガイドブックの発行等		
		地域に密着した空き家問題への取組の検討（情報把握、相談窓口等の情報支援）	○ 空家バンク制度の運用。【H30年7月立ち上げ。現在、登録事業者21件、成約は2件（内金剛地区1件）】同制度を活用する、所有者や居住希望者に対し、契約が成立した場合等に補助金を交付。 ※2-1-②、2-2-②、3-2-①	【住宅政策課】

3 豊かで多機能な「空間・施設」の充実

3-1 空き店舗等を活用し、多機能が複合した生活サービス拠点づくりを目指す			令和6年度 実績	
取組	方向性	例示		
① 商業施設の更新等において多機能化を進める	既存の商業エリア等においては、商業施設の更新の機会をいかして、住民の日常生活ニーズだけでなく、豊かな時を過ごせる居場所、さまざまな活動や交流の場等の機能を持ち、人が集まり、つながる多機能複合型の生活サービス拠点づくりを目指します。	住民のニーズや商業・サービス機能の実情に応じた生活サービス拠点づくり等に向けた関係者のビジョンの共有  空き店舗の暫定利用による生活サービス拠点づくりに向けた試行的な取組（チャレンジショップ、コミュニティカフェ等）	■ 地域の空き店舗をコミュニティスペースとして活用。（Café&Lunchロベ）  ■ R4年6月より「世代、分野を問わずに誰でも集まれるつながりの場」をコンセプトに誰もが立ち寄れる地域の交流の場として虹いろサロンこんごうを運営。 ※1-1-①、※1-3-①、3-1-①  ○ 「一般社団法人わっく金剛」による「わっくCafé」の開設・運営にかかる支援を実施。	【地域住民等】  【こんごう運営委員会】  【UR都市機構】 【金剛地区再生室】
② 既存の文化・運動施設の再整備や使い方を検討する	文化・創造活動、生涯学習、健康増進等、住民の多様な活動ニーズに対応するため、老朽化した施設の再生に取り組むほか、必要に応じて既存施設の使い方の見直しに取組まします。	住民参加により地域のニーズを把握することによる、施設の運営や老朽施設再生の検討	◎ 寺池公園等を活かしたまちづくりの会において、中・長期的なまちづくり（施設等の再整備、公園活用、寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草活動）、プレーパーク&パラソルカフェ開催）について検討。 ※3-1-②、3-3-②、3-3-③	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】
3-2 生活サービス機能等の充実のため、空き家や空きスペースを有効活用する			令和6年度 実績	
取組	方向性	例示		
① 生活サービスや交流・文化活動の場として、空き家等を有効活用する	増加傾向にある空き家については、新たな居住者を呼び込むための受け皿として活用するとともに、戸建住宅地における身近な生活サービスや交流・文化活動の場の充実のため、有効活用を進めます。	空き家を貸したい家主と使いたい住民・地域団体等のニーズのマッチング	○ 空家バンク制度の運用。〔H30年7月立ち上げ。現在、登録事業者21件、成約は2件（内金剛地区1件）〕同制度を活用する、所有者や居住希望者に対し、契約が成立した場合等に補助金を交付。 ※2-1-②、2-2-②、3-2-①	【住宅政策課】
② 地域活動等の場として、学校施設や地区内の空きスペースを有効活用する	これまで、町会（自治会）等の集会所や学童クラブ等に活用されてきた学校の施設を引き続き貴重な地域活動の場として充実させるとともに、地区内の空きスペースについては、地域活動や生活サービスの場としての活用を進めます。	運動場等の地域開放の充実、住民への情報提供の充実	○ 拠点施設の適切な維持管理により、地域コミュニティ活動の促進に繋げる。小学校の空き教室を活用した集会所の維持管理。〔金剛地区では、高辺台集会所1ヶ所が対象〕  ○ 学校の余裕教室等を活用し、地域活動拠点の開設。（久野喜台小学校 利用実績79日、寺池台小学校 利用実績20日）	【人権・市民協働課】  【教育総務課】
		空き地での移動販売などの実施	○ 学校体育施設の活用促進。学校教育に支障のない範囲で、地域スポーツの活動拠点として、学校施設を地域に開放。〔金剛地区では、高辺台・久野喜台・寺池台・伏山台小学校で体育館・グラウンドを開放。葛城・金剛中学校で体育館を開放〕	【生涯学習課】

3-3 “癒える” “楽しめる” “使いこなせる” 広場や通りに再生する						
取組	方向性	例示	令和6年度 実績			
① 「ふれあい大通り」を多彩な活動の場となる“まちの顔”として育む	金剛駅前から金剛中央公園間の「ふれあい大通り」は、“まちの顔”としての美しさ、風格を保つとともに、通り沿いは、豊かな時間が過ぎて交流が生まれる広場や施設がつながる通りとし、人々の「煌き」と「閑静な趣」を持った、金剛地区を象徴する空間に育てます。沿道の施設や住宅において再整備を行う場合には、通りの美しさ、風格、にぎわいや出会いの創出を実現します。	まちの顔にふさわしいにぎわい、出会いを創出するため、沿道の公園、各種施設等でのイベントの開催等	◎ 金剛マルシェ～地場やさい市～の定期開催。（毎月第4土曜日） ※1-2-①、1-2-②、1-4-②、3-3-①、4-1-③	【金剛マルシェ実行委員会】		
			◎ 金剛銀座商店街にてペットボトルツリーを作成。（R6.11.24） ※3-3-①、4-1-③	【金剛マルシェ実行委員会】		
			◎ 金剛バル★WinterLandとの連携。〔清掃活動、出店等〕 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【金剛マルシェ実行委員会】		
			■ 金剛バル★WinterLandの開催。〔R6.11.24金剛中央公園で開催。〕 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【金剛にぎわい創出実行委員会】		
			○ 金剛地区の新たな目的地として金剛駅周辺を対象とし、暮らしの選択肢や楽しみ（+1）を生み出し見つけることができるよう、金剛駅周辺まちなかウォークルビジョンを策定。〔令和7年3月〕令和6年10月25、26日には社会実験を実施。※1-4-①、3-3-①	【金剛地区再生室】		
			○ 金剛きらめきイルミネーションの実施。令和6年度来場者数65,975人。 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【商工観光課】		
② 寺池公園を水辺と緑の楽しめる公園に住民参加で再生する	地域の象徴的な存在のひとつである寺ヶ池をいかし、身近なレクリエーションの場として、水辺と緑を楽しめる公園に再生します。再生にあたっては、地域に永く愛されるため住民参加での再生や維持管理を進めます。	住民参加による再生チームの組成、活動拠点の確保	◎ 寺池公園等の魅力向上等の活動による、コミュニティ醸成やまちづくりへの参画促進、また快適で居心地の良い空間や交流機会の創出に向けて、「寺池公園等を活かしたまちづくりの会」を設立〔令和4年度〕 ※3-3-②、4-1-①	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】		
			◎ 寺池公園等を活かしたまちづくりの会において、中・長期的なまちづくり（施設等の再整備、公園活用、寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草活動）、プレーパーク&パソルカフェ開催）について検討。 ※3-1-②、3-3-②、3-3-③	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】		
			◎ 寺池公園等を活かしたまちづくりの会において、中・長期的なまちづくり（施設等の再整備、公園活用、寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草活動）、プレーパーク&パソルカフェ開催）について検討。 ※3-1-②、3-3-②、3-3-③	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】		
			◎ 寺池公園等を活かしたまちづくりの会において、中・長期的なまちづくり（施設等の再整備、公園活用、寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草活動）、プレーパーク&パソルカフェ開催）について検討。 ※3-1-②、3-3-②、3-3-③	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】		
			◎ 寺池公園等を活かしたまちづくりの会において、中・長期的なまちづくり（施設等の再整備、公園活用、寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草活動）、プレーパーク&パソルカフェ開催）について検討。 ※3-1-②、3-3-②、3-3-③	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】		
			◎ 寺池公園等を活かしたまちづくりの会において、中・長期的なまちづくり（施設等の再整備、公園活用、寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草活動）、プレーパーク&パソルカフェ開催）について検討。 ※3-1-②、3-3-②、3-3-③	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】		
③ 金剛中央公園をイベントや住民参加プログラムが行われる交流拠点として育む	金剛中央公園は、「金剛バル★WinterLand」等をはじめ、屋外イベントや住民参加プログラムが行われる地域の屋外型交流拠点とします。耐震性に課題のある青少年スポーツホールのあり方の検討とあわせて、多世代が交流する拠点としての機能強化を図ります。	「金剛バル★WinterLand」等をはじめとした屋外イベントや住民参加型プログラムの企画・運営	◎ 寺池公園等を活かしたまちづくりの会において、中・長期的なまちづくり（施設等の再整備、公園活用、寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草活動）、プレーパーク&パソルカフェ開催）について検討。 ※3-1-②、3-3-②、3-3-③	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】		
			◎ 金剛バル★WinterLandとの連携。〔清掃活動、出店等〕 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【金剛マルシェ実行委員会】		
			○ 金剛きらめきイルミネーションの実施。令和6年度来場者数65,975人。 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【商工観光課】		
			○ 金剛中央公園にて「金剛てんこもりフェス」、「防災体験」、「バーベキュー社会実験」を同時に行うParkDay2024を開催。令和6年9月28日実施。 ※1-1-③、3-3-③	【金剛地区再生室】、【UR都市機構】		
			■ 金剛バル★WinterLandの開催。〔R6.11.24金剛中央公園で開催。〕 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【金剛にぎわい創出実行委員会】		
			○ 公園内でのイベント等開催に対して公園使用を許可。（金剛バル、プレーパーク等の地域交流活動） ※3-3-③、3-3-④	【道路公園課】		
④ 地区内の通りや公園を、愛着の持てる場として再生に取り組む	ふれあい大通り以外の通りや、金剛中央公園と寺池公園以外の公園においても、にぎわいづくり、快適性の向上や愛着の醸成に向けて取組ます。	歩道空間や広場、公園、施設を活用したイベントの開催等	■ 地区内（伏山台小校区）の公園等でパソルカフェの開催。	【伏山台小校区福祉委員会】		
			■ 公園愛護会による、公園の清掃をはじめとする諸活動。（金剛地区内には7団体あり）	【各公園愛護会】		
			■ 寺池公園周辺における、さくら祭りの開催。（令和6年度は未実施）	【金剛団地自治会、寺池台一丁目、寺池台五丁目自治会ボランティア倶楽部】		
		街路樹等の保全・植替え、沿道のり面の美化・緑化、ユニバーサルデザイン化への取組	愛着の醸成につながる、通りの愛称の公募	住民主体による身近な公園の管理・運営	○ 「第2期富田林市SDGs未来都市計画（R5年3月策定）」の経済面の取組において、ウェルネストレイル事業として歩道等の整備について、また事業効果としてニュータウン活性化について明記。環境面の取組として、「ウォークブルタウンの企画・検討」を明文化。	【政策推進課】
					○ 道路施設（橋梁・トンネルなど）の老朽化対策の実施。金剛地区では令和6年度は橋梁定期点検を実施。	【道路公園課】
					○ ふれあい大通りを含め老朽化した舗装の改修を行い、快適な道路環境の維持に努める。 ※3-3-①、3-3-④	【道路公園課】
					○ 街路樹の剪定、薬剤散布、落葉の清掃、挿木などを実施。 ※3-3-①、3-3-④	【道路公園課】
					○ 公園・緑地の維持管理として、樹木の剪定、除草、公園・緑地内の清掃、遊具・施設の点検を実施。	【道路公園課】
					○ 寺池公園周辺から水辺をが覗めることができるよう周囲の樹木を伐採。枯れ枝剪定約50本、枯れ桜伐採約50本、雑木等伐採約300本。	【道路公園課】
		住民主体による身近な公園の管理・運営	歩道空間や広場、公園、施設を活用したイベントの開催等	愛着の醸成につながる、通りの愛称の公募	○ 公園愛護会への報償金補助（年1万円）、掃除用具の支給。	【道路公園課】
					○ 個人・団体・企業等からベンチの寄附を募り、「人とまちがにぎわう元気なふるさと富田林」の創生を目指し、寄附を受けたベンチを市が指定する歩道や公園に設置し、市民が外出時に安心して休憩できる空間を確保する。令和6年度は、金剛地区では未実施。	【道路公園課】
					○ 公園内でのイベント等開催に対して公園使用を許可。（金剛バル、プレーパーク等の地域交流活動） ※3-3-③、3-3-④	【道路公園課】

4 まちを運営する「仕組み」の構築				
4-1 住民等が主体となってまちを運営する「仕組み」をつくる				
取組	方向性	例示	令和6年度 実績	
① 再生・活性化の取組の主体となる組織をつくる	この指針で示した取組を企画・実行あるいは調整するとともに、地域団体等の枠を越えた情報・意見交換の場となる組織を設立します。	「(仮称)金剛地区まちづくり会議」の設立	◎ 金剛地区まちづくり会議の活動を継続。〔R6年度は、市・住民が連携し開催する会議を4回開催(第1回R6.4.21、第2回R6.7.20、第3回R6.10.19、第4回R7.2.15)〕	【金剛地区まちづくり会議】
		再生・活性化を先導する取組(リーディングプロジェクト)の企画・実行	◎ 金剛地区まちづくり会議において、居場所づくり、イベント企画、防災活動、公園&総合まちづくり、情報発信等、テーマに沿った取組を推進。	【金剛地区まちづくり会議】
			◎ 地区内に誰でも集える常設の居場所づくりを行うため、拠点づくりPJ有志により「一般社団法人わっく」を設立。〔令和元年度〕	【金剛地区まちづくり会議】
			◎ 寺池公園等の魅力向上等の活動による、コミュニティ醸成やまちづくりへの参画促進、また快適で居心地の良い空間や交流機会の創出に向けて、「寺池公園等を活かしたまちづくりの会」を設立〔令和4年度〕※3-3-②、4-1-①	【寺池公園等を活かしたまちづくりの会】
			○ 元気なまちづくりモデル事業。地域課題の解決や、地域の活性化等を目的に行われる、地域住民が主体となる活動に対して補助金を交付。令和6年度は金剛地区2団体に補助。	【人権・市民協働課】
			○ 大阪大谷大学、阪南大学、UR都市機構、市の4者により、KONGO Living Lab Project (KLLP) について活動。令和6年7月に包括連携協定書を締結した。※1-4-①、4-1-①、4-1-③	【大阪大谷大学】【阪南大学】【UR都市機構】【金剛地区再生室】
			○ 校区担当職員事業。市内16小学校区で開催されている校区交流会議に市職員が校区担当職員として参加(1班2名で2校区を担当)し、地域と行政のパイプ役を担う。また、各部局に推進担当員を配置し、部局内の課題の共有並びに解決に向けた検討及び連携調整等を行う。〔R6年度の開催状況、高辺台6回、久野喜台3回、寺池台4回、伏山台7回(小学校区)〕	【増進型地域福祉課】
② まちづくりの中心拠点となる場所を確保する	「(仮称)金剛地区まちづくり会議」の活動をはじめとする地区内の活動を支えるネットワーク拠点となり、また、まちづくりに関するさまざまな情報の発信拠点、さまざまな活動ができるスペースを、まちづくりの中心拠点として確保します。	既往施設の再生にあわせた場所の確保等	○ 集会所整備補助制度により、町会・自治会等が行う、集会所の設置、改修、備品購入等に対し補助金を交付。〔R6年度は、市全体で25件補助。金剛地区では2件補助〕	【人権・市民協働課】
			○ 市民公益活動支援センター(小金台二丁目)の運営委託。市内で市民公益活動を行う人・団体に対し、相談業務や情報提供、講座の実施、備品貸出、活動場所の提供などの支援を実施。(金剛地区:金剛ショッピングモール51件375人、KONROOM30件143人) ※1-3-④、4-1-②	【人権・市民協働課】
③ 地区活性化のきっかけとなる祭りやイベントに取り組む	住民や地域団体、事業者が主催者やホストとして参加する祭りやイベントを行い、地区の再生・活性化の取組への参加のきっかけとします。	「金剛バル☆WinterLand」等のイベントの実施。住民等のホストとしての参加促進	◎ 金剛マルシェ〜地場やさい市〜の定期開催。(毎月第4土曜日) ※1-2-①、1-2-②、1-4-②、3-3-①、4-1-③	【金剛マルシェ実行委員会】
			◎ 金剛銀座商店街にてペットボトルツリーを作成。(R6.11.24) ※3-3-①、4-1-③	【金剛マルシェ実行委員会】
			◎ 金剛バル★WinterLandとの連携。〔清掃活動、出店等〕 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【金剛マルシェ実行委員会】
			■ 金剛バル★WinterLandの開催。〔R6.11.24金剛中央公園で開催。〕 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【金剛にぎわい創出実行委員会】
			■ 阪南大学によるわっくカフェを利用したラーメンコンテストの実施や金剛マルシェ(古着出店等)への参加。	【阪南大学】
④ 地域活動や地区の魅力等の情報の共有化と地区外への発信に取り組む	地域で取り組まれているさまざまな活動やサービス、地区の魅力等の情報を、的確に住民に情報提供する取組を進め、地区内で共有します。また、地区外に向けた魅力の発信、PRを進めます。	公園再生等、住民参加型の取組推進	○ 金剛きらめきイルミネーションの実施。令和6年度来場者数65,975人。 ※3-3-①、3-3-③、4-1-③	【商工観光課】
		地域主体のきめ細やかな情報の収集と共有	◎ SNS (Facebook) による、金剛地区活性化に向けた取組の情報発信。 ※1-3-①、4-1-④	【金剛地区まちづくり会議】
		地区外への魅力を発信する広報活動、PR活動	○ 市広報誌、ウェブサイトおよび各種SNS (LINE公式アカウント、Facebook、X、Instagram) において、金剛地区の各種イベント等の情報発信。	【都市魅力課】
		○ エコール・ロゼ(金剛東)にて、本市の情報発信をする「とんかつランド」を運営。	【都市魅力課】	
		○ 子育て応援サイト「TonTon」の運用し、子育てに関する機関の紹介や、地域の子育て支援情報を発信。	【こども政策課】	
4-2 時代の変化にあわせて、まちづくりのルールを考える				
取組	方向性	例示	令和6年度 実績	
① 景観の保全・魅力化や多機能なまちへの転換に対応できる法・制度を地域で検討する	成熟した景観を守り育てるために、今後、景観の保全や住宅・施設の改修・建て替え等に関するルールづくり等が必要となった場合には、住民主体で検討を進めます。また、土地利用等に関するも、生活サービス機能の状況等を踏まえ、必要に応じて法・制度等の見直しに向けた検討を行います。	ルールづくりの検討体制の構築や、専門家派遣等の支援等による地域主体の検討	○ 建築協定勉強会の開催。金剛地区では、寺池台二丁目9及び23街区建築協定が対象。【令和6年度実績】令和6年9月7日(土)寺池台二丁目集会所で実施。9名の地区住民(内1名は建築協定委員長)の参加。建築協定の意義や趣旨等の一般的な内容から、「寺池台二丁目9及び23街区建築協定」の詳細内容と更新に向けた手続き等についての勉強会を開催。	【都市計画課】